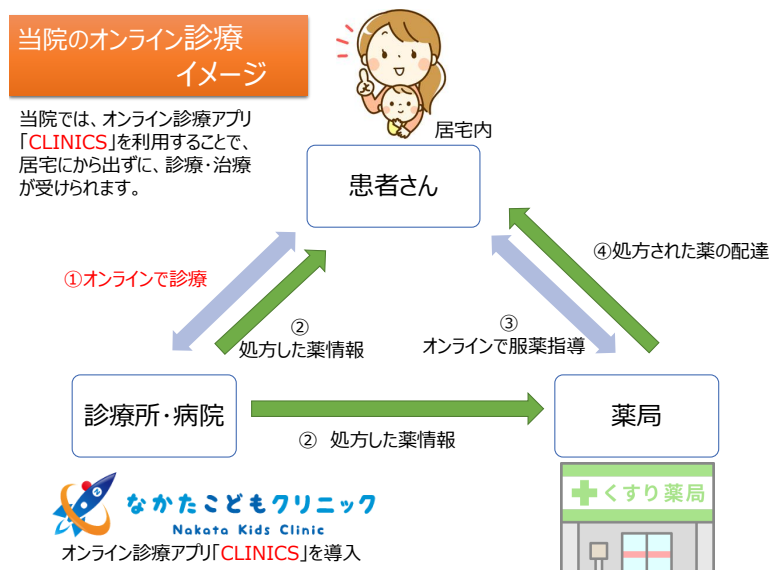


オンライン診療・在宅での処方箋取扱のご案内【新型コロナウイルス感染予防対策】



※必ず、以下の注意点などについて確認いただいた上で、受診予約をお願いします。

初診からのオンライン診療を開始いたしました。これは、去る4月10日に厚生労働大臣より発表された方針を受けてのことです。当院はこれまでも、再診以降については同様の形式に対応いたしておりました。今後は、この取り組みを初診へと広げます。通信端末（カメラ付きスマートフォン・PCなど）をお持ちであれば、ご自宅から受診できます。これにより、感染症に罹患するリスクを避けられます。お薬については ①診療後にご希望の薬局（かかりつけ薬局）へ受け取りに行く ②オンライン服薬指導（一部の薬局が行っている、電話等での服用方法などの指導とお薬の配達）を受けたうえで、自宅で受け取る 方法があります。

ご自宅から出ずに、診療を受けて薬を受け取ることが可能となりました。

以下では、当院で行うオンライン診療について箇条書きでご説明します。

- ・当院の受診歴がない方の初回診療は、原則として受診される方の「顔が見える」形で行います。通信端末（カメラ付きスマートフォン・PCなど）をご用意のうえ、ビデオ会話アプリ『CLINICS(クリニックス)』をダウンロードする必要があります。（電話による音声通話のみの診察も解禁されましたが、当院では行いません。）

患者様用 CLINICS アプリの使い方

【動画：iPhone の場合】 <https://youtu.be/UdfpqVeSt0s>

【動画：Android の場合】 <https://youtu.be/bvQ7qcAKLkA>

- ・初診の方は、「オンライン初診外来」をご予約ください。診察予約時間の5分前にアプリを立ち上げてお待ち下さい。
- ・再診の方は、「一般外来」をご予約ください。(当院でお伝えした再診コードを入力して下さい)
- ・当院は大阪府大阪市にありますが、大阪市外、府外の方も受診できます。
- ・大阪府外の方は、子ども医療費助成制度などの公的助成制度が自動では受理されません。当院受診時には、いったん自己負担額をお支払いいただきます。当院発行の領収書など必要書類を後日、住民票のある市町村へ申請すれば公費適用分は還付されます。詳しくは各自治体にお問い合わせください。
- ・小児科外来のため、小児(中学生まで)に限ります。
- ・お薬については、診療後にご希望の薬局様にFAXで処方箋をお送りします。事前に当院から処方箋送付先となる薬局様の店名、電話番号、(FAX番号・住所)をご用意ください。オンライン服薬指導対応の薬局様でも同様です。法令により当院から特定の薬局様をご紹介する事はできません。
- ・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の厳しい状況から、当面の間、システム使用料・処方箋送料などのオンライン診療に伴う、手数料のような別途の費用はいただきません。(オンライン服薬指導では、薬局様によっては別途費用がかかる事もあるようです。ご希望の薬局様に事前確認をお願いします。)
- ・初診では、処方ができないお薬(抗てんかん薬、向精神薬など)がございます。
- ・お支払いは、クレジットカードのみ対応いたしております。
- ・発熱などを伴っており急な変化が想定される場合、オンライン診療ではなく対面診療をおすすめすることもあります。
- ・今後、新型コロナウイルス感染症の終息にともなって厚生労働省の方針が変更された場合、保険診療ができなくなる可能性があります。(この場合、当院のホームページに掲示します。)
- ・オンライン診療が継続中であっても、万が一容体が急変した際などには、ご自身で判断せず、当院や近くの医療機関、または救急医療電話相談窓口等(休診・休日夜間の場合)へご連絡ください。

※ オンライン診療ご利用の注意点

- ・触診や聴診器を用いた聴診ができません。
- ・各種検査(血液検査・迅速検査)・点滴処置が行えません
- ・視診についても、画面の解像度にもよりますが、病院の診察室で行う対面診察には及びません。
- ・問診票の内容などを踏まえて、担当医師がオンライン診療困難であると判断した場合、従来通り当院での対面診療をお願いするか、近隣の医療機関受診をお願いする場合があります。

当院がオンライン診療に取り組む目的

新型コロナウイルス感染症の拡大が続く現在、オンライン診療には2つの利点があります。まずは、院内での感染を防げること(患者さん、当院双方にとって)。さらに、直接お越しになれない患者さんをも受け付けることで、医療体制がひっ迫しつつある地域を間接的にサポートできることです。

患者さんと実際にお会いできない以上、オンライン診療には限界もあります。対面による診療と比べて、細かい情報を十分に把握できない可能性もあります。しかし、今の特殊な状況下では、両者の差が縮まっています。コロナ対策のために、対面診療の場合でも口腔内の診察や迅速検査を行わない医療機関が増えているためです。従来そうした診察を主とするのは、小児科・内科といった分野です。よってこれらの領域では、オンラインと対面とで得られる情報量の違いが限定的であると当院は考えています。

以上の理由をもちまして、当院はオンライン診療を可能な限り実施することに致しました。この新しい診療形式に対応する医療機関が未だ少ないという現状に鑑み、微力ながら社会貢献への決意を表明するものであります。

2020年4月13日
なかたこどもクリニック
院長 中田 昌利